

令和7年度 第2回 蒲原地区学校開校準備委員会を開催しました！

令和7年7月22日 午後7時～8時30分 蒲原生涯学習交流館

蒲原地区では、令和8年4月の施設一体型小中一貫校の開校に向けて、「蒲原地区学校開校準備委員会（会長：服部連合自治会長）」を随時開催しています。自治会関係者や学校評議員、学校・こども園のPTA会長の皆さんなどが委員となり、学校や教育委員会とともに話し合いを行っています。



今回の内容

【校章デザインに関するアンケート結果の説明と承認について】

R6年度		R7年度										
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
児童生徒の案を各校から3案ずつ提出		準備委員会で共有	投票	校章決定	※ブラッシュアップ（業者委託）	校旗等作成						

※ブラッシュアップ（業者委託）…児童生徒のデザイン案を専門業者が形を整えたり、色合いを調整したりして仕上げる工程

- ▶新しい小中学校の校章を作成するにあたり、3校の小中学生からデザイン案を募集し、各学校で3つずつ候補を選出しました。
- ▶9つのデザイン候補に対してアンケートを行ったところ、「A」に415票と1番票が集まりました。

蒲原地区学校開校準備委員会として、Aのデザインをブラッシュアップ（専門業者が形や色合い等を調整）して完成させることを決定しました。

アンケートの全体概要

- 対象者 : 蒲原中・蒲原東小・蒲原西小の児童生徒・保護者・教職員、未就学児の保護者、地域住民
- 回答方法 : Web、FAX、用紙にて回答
- 回答期間 : 令和7年6月10日（火）～6月30日（月）
- 回答者数 : 1,037人

A



デザインへの思い

南には吹上ノ浜に打ちつける駿河湾からの波、北には雄大な富士山、その中間にある御殿山の美しい桜を見ることができる蒲原を表現しました。そして中心に蒲原小中学校を表す「蒲」を書いて、富士山と駿河湾に囲まれ、見守られていることを表しています。このデザインは、何年たっても蒲原の美しい景色が同じように残り続け、蒲原が発展し続けてほしいという願いを込めました。

<いただいた主なご意見>

- 雄大な富士山、駿河湾の波、御殿山の桜、3校の象徴が集まっている。これから蒲原小中学校に入学する子どもたちにも親しまれやすそうなデザインだと思う。伸び伸びと成長することを願う。
- シンプルで分かりやすいデザインだと思う。
- 富士山のさりげない宝永山も、蒲原から見える富士山で良いと思った。
- 込められている思いに共感した。
蒲原が将来も残り続け、さらに発展することを願う。

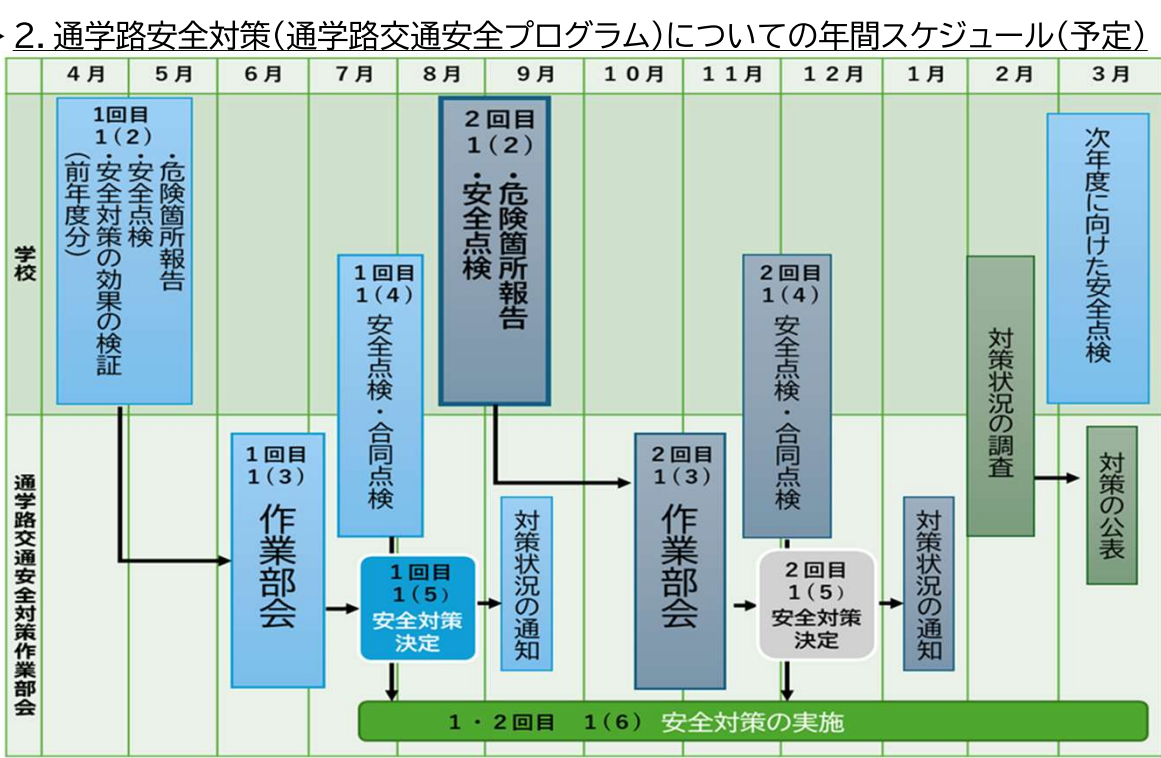
裏面あり

◎お問い合わせ先 蒲原中学校（学校開校準備委員会事務局） ☎054-385-4115
静岡市教育委員会（教育総務課） ☎054-354-2505

【通学支援の考え方】

市教委 説明 (ポイント)	▶ 令和8年4月～の通学支援の対象者 自宅から蒲原小中学校(現蒲原中位置)までの徒歩での移動距離(通学路)が2キロ以上となる小学生児童が対象となる。 ▶ 蒲原地区における通学支援として、市がスクールバスを運行する。 ※乗車人数に応じたバスの大きさ、運行時間、便数を検討する。 ※登校時、下校時ともに2便の運行を想定(下校時は、低学年と高学年で時間を分けて運行予定) ※スクールバス乗降場の候補地として、JR蒲原駅、蒲原生涯学習交流館を検討している。
---------------------	--

【通学路指定までの流れと通学路の安全対策】

市教委 説明 (ポイント)	▶ 1. 通学路指定までの流れ (1) 学校が、通学路に指定予定の道路を確認する。 (2) 学校が、通学路の安全点検として、危険箇所等を調査する。 (3) 教育委員会主催の通学路交通安全対策作業部会で具体的な安全対策を協議する。 (4) 各機関(警察、道路保全担当、学校等)が、必要に応じて個々の安全点検または合同点検を行う。 ※合同点検には、PTA代表者、地元自治会代表者が参加することもある。 (5) (3)(4)を踏まえ、各機関が安全対策の決定を行う。(6) 各機関が、安全対策を実施する。 (7) 上記の内容を踏まえて、校長が、通学路の指定を行う。 ▶ 2. 通学路安全対策(通学路交通安全プログラム)についての年間スケジュール(予定) 
---------------------	---

委員 意見 (抜粋)	▶ 最終的に通学路の指定を行う時期はいつになるか。通学路がいつ指定されるか心配している保護者も多いため、早めに通知してあげてほしい。(事務局回答:これからまずは危険箇所を洗い出し、安全対策を検討していく。2回目の安全対策の決定(12月頃)には、通学路を決めることができると思う。) ▶ スクールバスの中や停留所での子どもたちの見守りはどのように行うか。(事務局回答:地域の皆様のご協力も視野に入れさせていただきながら検討していきたい。)
------------------	--

【統合後(令和8年度)のプールの授業】

学校説明 (ポイント)	▶ 蒲原中の既存プールは中学生仕様であるため、プールの一部を浅くし、深い方への落下防止用の柵を設置するなどの安全対策を講じた上で、小学生も使用できるように改修する。
委員意見 (抜粋)	▶ 令和8年度についても、中学生にもプールの授業があって、蒲原中の既存のプールを中学生と小学生とで使用するということか。(事務局回答:そのとおり。改修にあたっては、中学校の一存ではなく、2小学校の意見も取り入れながら進めている。)

